【参考様式１】

令和６年度
教育課程特例校における特別の教育課程
【実施状況報告】

池田市立 秦野小学校

１．概要

池田市では平成１６年３月に構造改革特別区域計画の認定を受け、「教育のまち池田」特区に取り組んできました。市立小学校全学年に「英語活動」を教科として導入（全学年 年間３５時間）し、平成１８年度より全小学校で実施してきました。

　平成２０年７月より「構造改革特別区域研究開発学校」規制の特例措置が全国展開されたことにより、本市の特区認定は取り消され、文部科学省の「教育課程特例校」指定に移行し、これまでの特区内容の教育課程を継続実施しています。

平成２５年度に「教育課程特例校」の実施期間の終了を迎えましたが、平成２６年度以降も継続を申請し、１～４年生における「英語活動」の授業を実施しました。

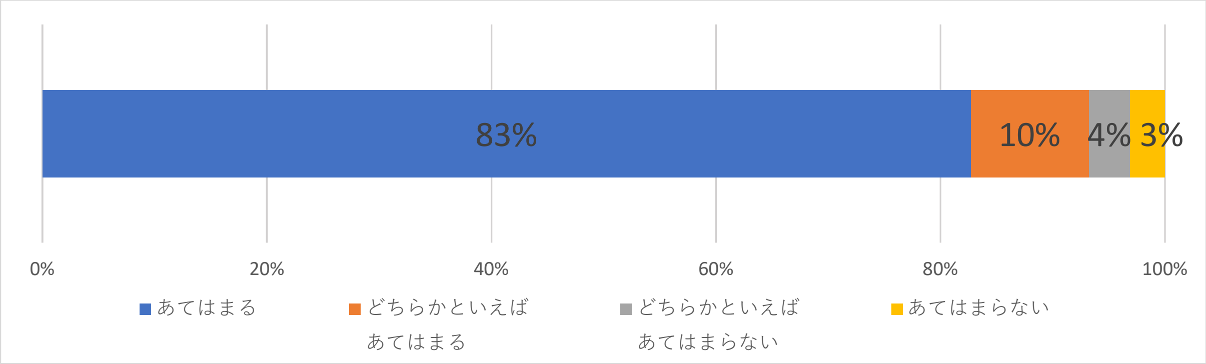
新学習指導要領への移行に伴い、「英語活動」は引き続き１・２年生で実施し、幼稚園、小・中・義務教育学校での継続的な英語学習をすすめています。

この１・２年生の「英語活動」は生活科の時間を活用して年間１５時間実施しています。内容としては主に英語のリズムや音に慣れ親しむ活動を重点にし、挨拶や動作、身の回りのものを表す単語を題材にした活動を取り入れています。早期の段階から英語に触れることで、ことばや文化に対する関心を高め、正しく理解し、国際社会で生きる力を育成することをねらいとしています。中学年からの外国語活動、高学年からの外国語科への学びの連続性を意識して指導にあたっています。

２．児童アンケートの結果

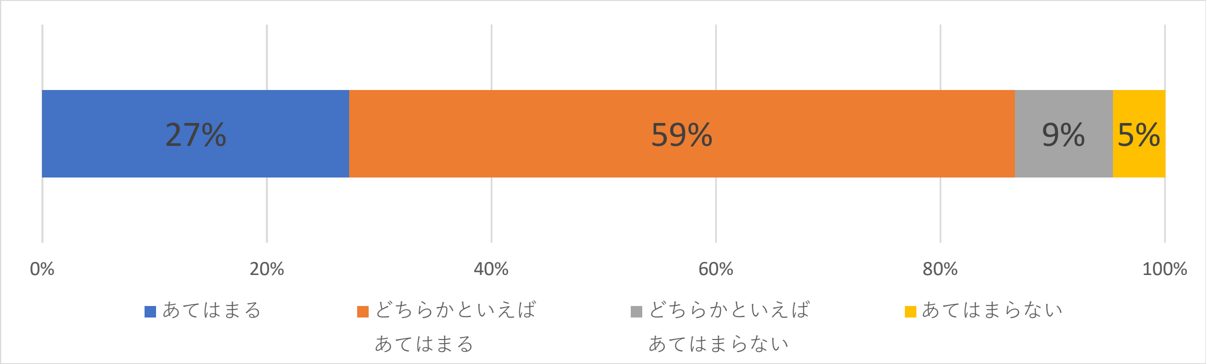
①　英語の勉強は好きだ。

	あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない
1年生	52	7	1	2
2年生	82	10	5	3
合計	134	17	6	5



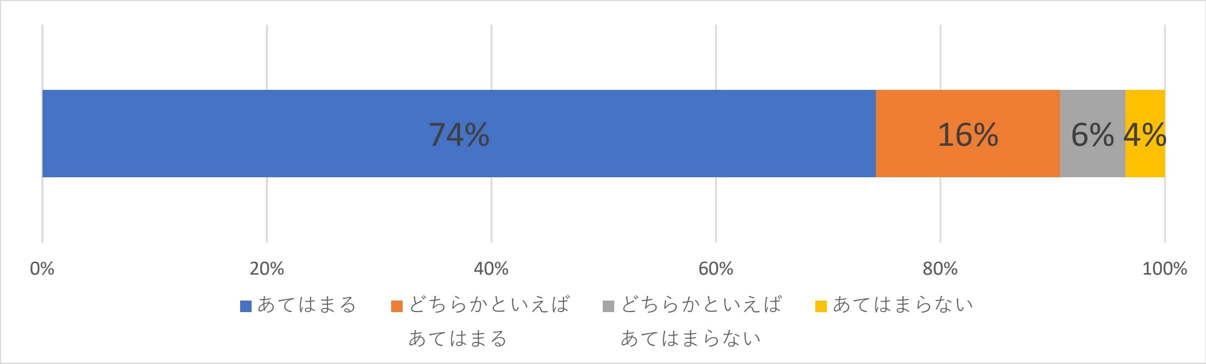
② 英語の授業はよくわかる。

	あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない
1年生	23	35	6	4
2年生	24	67	9	0
合計	47	102	15	8



③ 外国の人と英語を使って話せるようになりたい。

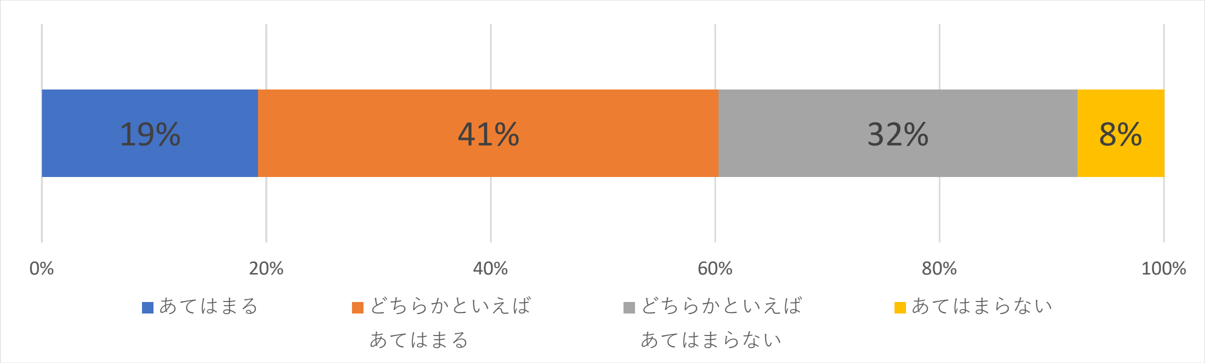
	あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない
1年生	47	9	4	5
2年生	80	19	6	1
合計	127	28	10	6



３．保護者アンケートの結果

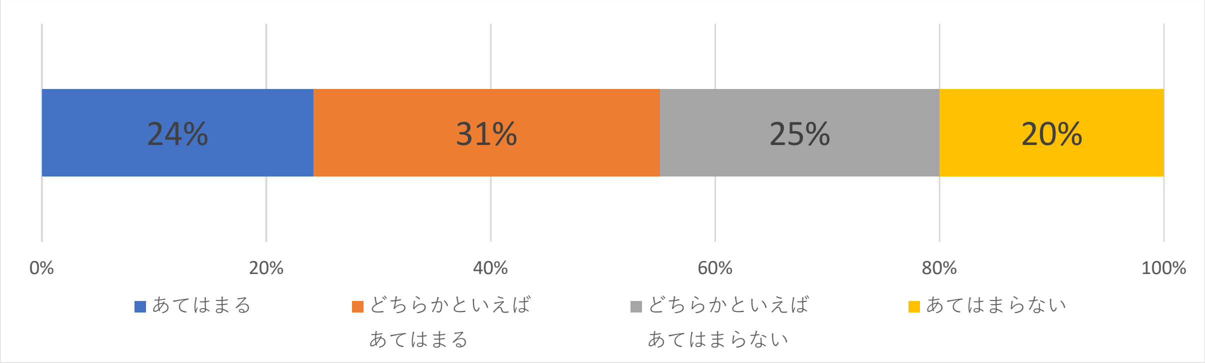
①　英語の授業を通して、お子様の英語学習に対する態度や英語を運用する知識・技能の向上を感じましたか。

	あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない
合計	55	117	91	22



②　英語の授業のことを家庭で話題にしますか

	あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない
合計	69	88	71	57



４．学校関係者からの意見

・英語が不可欠な時代になっていくと思うので、英語のアウトプットできる環境を積極的にどんどん取り入れていく必要がある。
・低学年の頃から「慣れ親しむ」ということは、それ以降につながる大切な経験につながると思う。

５．今後に向けて

「１．英語の勉強は好きだ」に対して昨年度に引き続き約９０％の児童が肯定的な回答をしています。特に強い肯定「あてはまる」を選択した児童が８２．７％で、昨年度と比較して増加しました。低学年の児童が英語のリズムや音に慣れ親しめるような歌やゲームを引き続き取り入れていきます。
「２．英語活動の授業はよくわかる」の問いに対して「あてはまる」「どちらかというとあてはまる」という回答が８６．６％でした。この数値は一昨年度７２．４％、昨年度７５．５％と順調に推移しています。この調子で「英語がわかる授業」を継続していきます。
低学年からの英語活動により、英語に慣れ親しむという点では効果が出ているように感じています。３年生以上の外国語活動につながるよう、引き続き児童の興味関心を高められる授業を展開していきます。